

俳句自由律

雨また雨

松本西夏

台風豪雨 台風豪雨 予報には笑うしかない
雷光速射砲のごと降る 薄緑色に飛沫跳ね
時間雨量百ミリ越え ただに座しおるのみ
無音のまま雨崩れ落つ けだし白い壁なり
午前三時雷光雷雨激し 窓開け^{たちま}忽ちに閉ず
消防車救急車上りゆくらし 川音騒ぐ夜半
御笠川今にも壊れんかと疑念湧き 眠らず

前線停滞し居座り 積乱雲次々に積み上げ
積乱雲の層 奥に厚く高く詰め置かるらし
想定外らし バッグビルディングなる現象
柿の実雨に落ち尽す 台風にも耐えたるが
都府楼跡に蛇を見る 叢^{くさむら}の主らし水を出で
藪蚊さえ寄らぬ 雨に腐^{くた}されし原を歩ける
朝に夕に鴉^{からす}来たりて 高く低く鳴き交わす
川草川下に向かい伏し 鷺一羽水際に佇む
大仰に言わねど 昨日も今日も明日も又雨
除湿機フル回転 二度も三度も水捨つる日
出る刹那に催し始め 急ぎ戻れば上がる雨